

Yahoo!アクセス解析導入のセルフユーザーテスト

2009/05/31 智田武義

はじめに

凡例

実際のアクション

実際にしたアクションには、先頭に👉アイコンがついています。

導入まで

ネタフルの記事でポジティブな評価がされていたこと、上司が Twitter 上で使いやすそう、と発言していたので、とりあえず使ってみようと思う。

サイトの離脱率を低くしたいと考えている。具体的にどうしたらいいか明確にはなっていない。

まず、「どのページで離脱しているのか」と「サイト内別ページに遷移してくれているユーザーは、どこをクリックして遷移してくれているのか」を把握したい。

テスト結果メモ

Yahoo ! アクセス解析にたどり着くまで

👉ブラウザ(FF3.0)の検索フォームから「Yahoo! アクセス解析」で検索する。

👉検索結果のトップに表示されたリンクをクリック。検索結果の description は読んでいない。

『Yahoo!アクセス解析』の設定

トップページ



すでに『Google analytics』や『Yahoo!ロゲール』を利用している。その経験から、「複数のアクセス解析ツールを同時に使っても問題ない」「とりあえず設置して、いやになったら辞めても大丈夫だろう」と考えた。

そのため、まずは設置し、解析レポート画面を見ながら使い方を学んでいけばいいだろう、と判断した。

👉 トップページのテキストはほとんど読まずに、目に入った【利用登録】をクリックする。

利用ガイドの確認ページ



テキストは一切読んでいない。

即【同意する】ボタンをクリックしようとしたが、ボタンがグレーアウトしていたので「きっと『ガイドラインを読んだよ』チェックボックスをオンにしないといけないんだろうな」と思った（このパターンは過去の登録画面でよくあったので）。

画面上にチェックボックスを見つけた。

👉 チェックボックスに隣接する文字（←この文字すら読んでいない）をクリック。

チェックボックスではなく、隣接するテキストをクリックしたらちゃんとチェックボックスがオンになったので感心する。

👉【同意する】ボタンがクリックできる状態に切り替わったので、クリック。

プロジェクト登録

Yahoo! アクセス解析 プロジェクト登録

プロジェクト名、ベースURLを入力し、エディションを選択のうえ「登録」ボタンを押してください。

1. プロジェクト名
へたなwebディレクターの覚え書き
0123456789

2. ベースURL
0123456789

3. エディション
ベーシック

登録

ヒント
プロジェクト名は、解析対象ページの識別子のことです。同一の解析対象ページに複数のページは、それぞれ別のプロジェクトとして登録します。

ヒント
ベースURLは、ホームページでアクセスを集める際に、最初にアクセスされるページのことです。ベースURLは、サイトマップページのURLなど、管理画面では登録することをお勧めします。

ヒント
エディションは、分析目的に合わせた最適な分析ツールや、分析結果の組み合わせのことです。Yahoo! アクセス解析の機能は、すべて「ベーシック」エディションで対応しています。詳細は下記をご覧ください。

「プロジェクト名」って「サイト名」ってことじゃないのか？

サイト名じゃなくてプロジェクト名を登録させるということは、それをさせる意味があるのだろうか、なんだろう？

👉先に進めばなにか理解できるかな、と思い、プロジェクト名を飛ばして次の項目を見る。

「ベース URL」というのもよくわからない。登録できる URL は一つ。「ベース URL」という言葉の意味するところは分からないけれど、一つだけ登録させるということは結果的にサイトのトップページを登録する以外にないのではないか。ということは「プロジェクト名」もイコールサイト名のことなのではないか？

👉プロジェクト名のヒントを読んでみた。

複数のサイトを一つのプロジェクトとして登録できるということか？

ということはひとつの YID に対してプロジェクトはいくつ登録できるの？

あとログールとまったく関連のないツールだということはどういうふうな感じで、『Yahoo!サイトエクスプローラー』とも違うのか！

👉よくわかんないけどプロジェクト名にはサイト名を入力してみる。

そうしないと先に進まない、と思ったので。

👉フォーム「ベース URL」にはサイトトップの URL を入力。

次の選択肢、「エディション」ってなんだ。

👉ヒントを読む。

ヒントがなんのヒントにもなってない。イライラする。

おそらく「ベーシック」のほうが初心者用？

ならばいま知りたいのは「あとから変更できるかどうか」なのだ。あとから変更できるのなら、今はとりあえず「ベーシック」を選んでおけばいいのだから。

しかし天下の Yahoo!がこの時点でわざわざ選択させるということは、やはりあとから変更できないのでは？と不安に。

👉 わからないのでついに「ヘルプ」をクリック。ヘルプページに遷移する。

フォーム入力画面で入力中なのに、別ウィンドウにヘルプを読み込まない(入力中の現ページを書き換える)とあって何？と思う。

👉 ブラウザーの戻る機能で戻り、入力中の内容(たいした文字数じゃないけど)が保存されているのを見てホッとす。

👉 こんどは「ヘルプ」を中ボタンをクリック。(別タブで表示)

👉 ヘルプページの中の「エディションとは」をクリック。表示されたヘルプページを読む。

あとから変更できるかどうかについては書いていない(ほかの部分はまったく読んでいない)。イライラする。

👉 プロジェクト登録のタブを再度表示。

👉 「とりあえず」ベーシックを選ぶことにする。

あとから変更できなかつたら最悪別 YID で取得し直せばいいと思った。

ここで気づいたのだが、このアクセス解析って YID に紐付くんだっけ？僕は用途に合わせて YID を3つ持っている。いまログイン中の YID は個人の遊び用アカウントで、アクセス解析導入には別アカウント(ログールや Yahoo!ウェブマスターツールで利用しているほう)を使いたい。

👉 いまさらながらログアウトする。

👉 アクセス解析用に使いたい YID で再ログイン

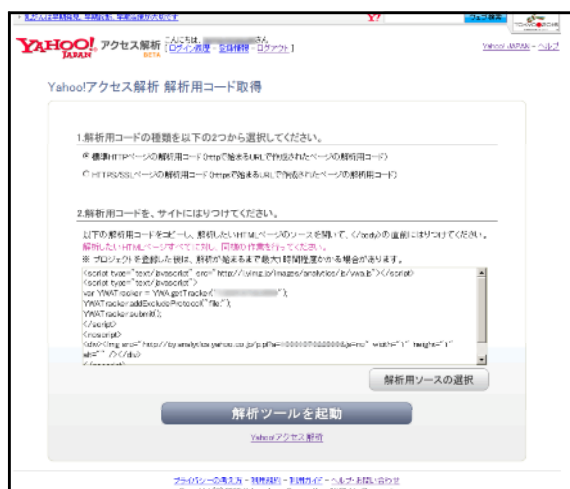
👉 ふたたびトップから同じ動作を行う。

YID を変更したので、最初からやり直しなのは仕方ないかな、と思う。

👉 (中略・これまだやった同じ動作を再度行う)

👉 「ベーシック」を選択し、【登録】ボタンをクリック。

解析用コード取得



「解析したい HTML ページのソースを開いて、</body>の直前にはりつけてください」と書かれているが、たしか Google のもそうだったらどうしよう…同時利用できないのかな？と思う。

👉 と思って自分のブログのテンプレートを開いたら、Google は</body>のあとだった。安心する。

👉 別タブで開いた自分のブログテンプレートを編集する。解析用コードをコピペするだけなので迷わない。

👉 コピーには【解析用ソースの選択】ボタンは使わず、ctrl+a、ctrl+c を利用。

👉 解析用コードの設定完了。【解析ツールを起動】をクリック。